

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。



口内炎治療薬 口内炎治療薬M

本剤は、口腔粘膜への優れた付着力があり、患部を保護するとともに、抗炎症作用により患部の炎症を抑え、口内炎やそれにともなう痛みなどを改善します。

☆口内炎(アフタ性)とは☆

頬の内側や舌、唇の裏側などに、周りが赤っぽく中央部が浅くくぼんだ白っぽい円形の痛みを伴う浅い小さな潰瘍(直径10mm未満)が1～数個できた炎症の総称です。その原因は明確ではありませんが、ストレス、疲労、あるいは片寄った栄養摂取が関与していると言われています。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用がおこりやすくなります)

1. 次の人は使用しないでください

- (1) 感染性の口内炎が疑われる人。(医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください)
 - ・ガーゼなどで擦ると容易に剥がすことのできる白斑が口腔内全体に広がっている人。(カンジダ感染症が疑われる)
 - ・患部に黄色い膿がある人。(細菌感染症が疑われる)
 - ・口腔内に米粒大～小豆大の小水疱が多発している人、口腔粘膜以外の口唇、皮膚にも水疱、発疹がある人。(ウイルス感染症が疑われる)
 - ・発熱、食欲不振、全身倦怠感、リンパ節の腫脹などの全身症状がみられる人。(ウイルス感染症が疑われる)
- (2) 口腔内に感染を伴っている人。(ステロイド剤の使用により感染症が悪化したとの報告があることから、歯槽膿漏、歯肉炎等の口腔内感染がある場合には使用しないでください)
- (3) 5日間使用しても症状の改善がみられない人。
- (4) 1～2日間使用して症状の悪化がみられる人。



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(4) 授乳中の人。(5) 患部が広範囲にある人。(6) 高齢者。

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

使用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
口 腔 内	白斑(カンジダ感染症が疑われる)、患部に黄色い膿(細菌感染症が疑われる)、味覚の異常、しびれ感
そ の 他	アレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、浮腫等)

3. 本剤使用後、次の症状があらわれた場合には、感染症による口内炎や他疾患による口内炎が疑われるので使用を中止し、医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください

発熱、食欲不振、全身倦怠感、リンパ節の腫脹、水疱(口腔内以外)、発疹・発赤、かゆみ、口腔内の患部が広範囲に広がる、目の痛み、かすみ目、外陰部潰瘍

効 能

口内炎(アフタ性)

本剤が対象とする「口内炎(アフタ性)」は、頬の内側や舌、唇の裏側などに、周りが赤っぽく、中央部が浅くぼんだ白っぽい円形の痛みを伴う浅い小さな潰瘍(直径10mm未満)が1～数個できた炎症の総称です。

用法・用量

1日1～数回、適量を患部に塗布してください。

使用量の目安

1患部に、1回約3mm(米粒大)をチューブから取り患部に塗布する。

〈用法・用量に関連する注意〉

(1)定められた用法・用量を厳守してください。(2)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。(3)本剤は口腔用にのみ使用し、口腔用以外には使用しないでください。(4)痛みが治まったら使用を終了してください。(5)使用後はしばらく飲食を避けてください。(6)入れ歯の接着など治療以外の目的に使用しないでください。

☆☆☆口内炎治療薬Mのつけ方☆☆☆

①  よく手を洗い指先を清潔にしましょう。	②  お口の中をすすいできれいにしてください。	③  ティッシュペーパーやガーゼなどで軽く押さえるようにして患部のまわりの水分や唾液をぬぐってください。 (患部が乾きすぎると口内炎治療薬Mがつきににくくなりますので注意してください)
④  最初にチューブをあけるときは、キャップの反対側のとがった先を使います。 指先の水分や唾液をティッシュペーパーやガーゼなどで拭き取り、チューブから約3mm(米粒大)の口内炎治療薬Mを指先にとります。 →┐┐┐3mm	⑤  鏡などをみて患部のまわりからおおうようにつけます。つけた後、舌でさぐらないようにし、しばらくは食べもの・飲みものをひかえましょう。(食後やおやすみ前がよいでしょう)	⑥ チューブの口やその周辺に付着した口内炎治療薬Mをティッシュペーパーやガーゼなどできれいに拭き取ったあと、キャップをしっかりと閉めてください。(水分や唾液の影響で口内炎治療薬Mが固まる場合があります)

成分・分量と働き

1g中

成 分	分 量	働 き
トリアムシノロンアセトニド	1mg	患部の炎症を鎮め、口内炎を改善します。

添加物として、ゲル化炭化水素、カルメロースナトリウム、サッカリンナトリウム水和物、香料を含みます。

保管及び取扱い上の注意

(1)直射日光の当たらない涼しいところに密栓して保管してください。(2)小児の手の届かないところに保管してください。(3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わる場合があります)(4)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。使用期限内であっても、品質保持の点から開封後はなるべく早く使用してください。(5)使用後はチューブの口やその周辺に付着した軟膏を拭き取ったあと、キャップをしっかりと閉めて保管してください。(付着した軟膏が固まってしまうことがあります)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
電話0120-149-931(フリーダイヤル)

企画元：株式会社ツルハグループ
マーチャンダイジング

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。
福地製薬株式会社 滋賀県蒲生郡日野町寺尻824
電話0748-52-2323
受付時間：9時から17時まで(土、日、祝日を除く)

製造販売元
福地製薬株式会社
滋賀県蒲生郡日野町寺尻824